



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.2.14 No. 3539

JR当局の「2・21」反撃！ 破壊策動許さず

2/23 争議行為に関する 2/23 問題点について団体交渉

二月二十三日、千葉支社において、昨年十一月・十二月に二六ストをめぐって発生した様々な問題点について、団体交渉が行なわれた。

「ストライキの戦術がきちんとしていないからいけない」と暴言をはき責任を放棄するJR当局

動労千葉は、「不価値労働」なる概念を無制限に拡大しスト終了後も好き勝手に賃金カットしたり、「スト突入以降直ちに示せる」と言っていた立ちあがりの指定が、実際には出来ていない、ファックスで一方的に送り付けてくるとか、すでに間に合わない時間に、立ちあがりの指定を行なってくるなどの問題点について、当局に考え方を質した。

しかし当局側は、自らの責任を棚にあげ、言うに事かたがた「立ちあがりの問題」と言うよりも(動労千葉が)ストライキの戦術をきちんとしていないからいけないのだ」と発言したのだ。

目茶苦茶な賃金カット

結局、団交の席にできなかった運輸課の交渉担当者は沈黙してしまい、「もう一度整理の上で回答を行ないたい」と、実質的な議論に入らないまま、この日の団交は終了となった。

実際現場では、目茶苦茶な賃金カットを行なったために、翌月の賃金で払い戻したり、賃金カットを追加したりという事態が、千葉運転区を中心として、多数発生している。こんなデータが許されているのか！

第12回佐倉支部大会 成功勝ちとする！ 「貨物から反転攻勢の旗頭へ」

佐倉支部第十二回定期大会は、二月七日十七時三〇分より、多数の支部組合員の参加をえて開催された。

来賓には、本部より中野委員長、田中書記長を迎え、綿貫副支部長の司会により始まった。

議長に和田氏を選出し、議事が進められた。

来賓挨拶にたった中野委員長は「今年三月で分割・民営化五年になる。赤字を含め何ら解決していない。労働運動でも、国労や我々動労千葉もつぶせなかったし、JR総連が解体する事態になっている。いまや第二の国鉄分割・民営化ともいえるべき大合理化を狙っているのではないか。特に貨物に矛盾が多い。九二・三ダイ改闘争を突破口に闘い抜こう」と訴えた。

執行部の経過報告のうち、質疑に入り：
①地上勤の諸手当について 質疑応答後、運動方針案、予算案を満場一致採択し十九時二十分終了した。

一九九一年度役員

役職名氏	名職
支部長 宮内正志	運転士
副支部長 綿貫栄一	運転士
書記長 田中龍美	車技係
執行委員 飯高文彦	運転士
執行委員 岩田喬	車技係
執行委員 中台政幸	事務係